



福島県立橘高等学校

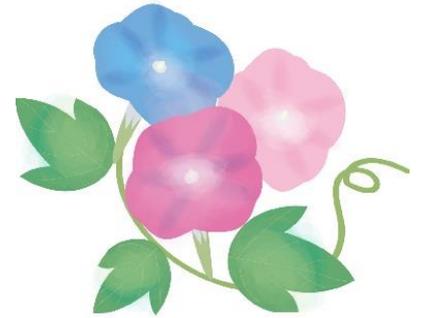
## 進路だより 第4号

令和3年7月16日

橘高校進路指導部

### 夏季休業中の進路関係行事

- 夏季課外（1、2年…7/19～7/28、3年…7/19～8/6）
- 全統模試（1、2年…7/30、3年…8/6、8/7）
- Tachibana 自己変革 plan2021（7/26、8/4、8/6 22名参加）
- 実力テスト（1年…8/19、2年…8/19、8/20、3年…8/19）
- 全統記述模試（3年…8/20、8/21）



夏季課外は各学年とも全員を対象として実施します。教科書からさらに発展したものや、大学入試に向けた演習問題などに取り組みます。そうは言っても、これらは授業での学習内容を踏まえて行いますので、教科書の内容をしっかりと理解したうえで受講するようにしてください。また、実力テストは夏季課外や夏季課題の範囲から出題する教科が多いようです。つまり定期考査より一段上のレベルでの出題となるため、大学入試に向けた実力を測るテストと言えます。

全統模試は全国大手予備校である河合塾で行っている模擬試験です。ベネッセが実施している進研模試が「教科書内容の確認」の色合いが強いのに対し、全統模試は「大学入試の準備問題」と言えます。よって問題の質もさることながら、中・上位層の人が受験しています。そのため偏差値も進研模試よりは全統模試の方が若干低くなる傾向にあります。

これらの行事は大学受験にとってどれも大事な行事です。しっかり予習や復習を行い、アグレッシブに参加してください。特に模試や実力テストは学力を上げる絶好の機会です。受けて終わりではなく、必ず誤答分析をしてください。

また Tachibana 自己変革 plan2021 は、校外の施設等を見学することによって、自分の中の変革（気づき）を目的とした本校進路指導部主催の希望者参加型の行事です。昨年度はコロナ感染症予防の観点から中止になりましたが、以前は筑波にある JAXA や国土地理院の見学等を実施していました。今年度については、本県の最大の課題である震災復興について考える機会にしました。6月に募集をかけたところ 22 名の希望がありました。自らの意志で手を挙げただけでも「変革（成長）」できる可能性は高いといえるでしょう。ぜひ良い研修にしましょう。今回、二の足を踏んで参加しなかった人は、次の機会には是非積極的に手を挙げてください。

今回の概要については以下の通りです。

#### 「Tachibana 自己変革 plan2021」の概要

- ・日時：7/26(月)事前学習、8/4(水)見学、8/6(金)事後学習
- ・見学地：「東日本大震災・原子力災害伝承館」、「中間貯蔵関連施設」ほか
- ・参加人数：22名（引率教員4名）
- ・協力：環境省、放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、原子力安全研究協会、東日本大震災・原子力災害伝承館
- ・費用：無料

### 夏を迎える3年生へ

よく、「夏を制する者は受験を制す」、「夏は受験の天王山」と言います。そもそも「天王山」って何か知っていますか？ 明智光秀と、信長のかたき討ちを果たそうとする羽柴秀吉との戦いで、この山を制した方が天下を取ることになる「天下分け目の天王山」と呼ばれた山のことです。3年生のみなさんはぜひこの夏を制して合格を勝ちとりましょう。学年集会で配られた「3学年だより」の内容に加えて、次のことをよく確認しておきましょう。

## ①規則正しい生活

「長距離走では坂道攻略がカギ」と聞いたことがあります。上りで歩いてしまったり、下りで調子に乗ってスピードを出したりしては、心肺機能や関節が最後まで持ちません。学習に置き換えると、「数学が調子よくなってきたから昨晚は徹夜したら、次の日の午前中は機能しなかった」ではダメなのです。心技体が揃ってはじめて学習効果が表れます。夏休みは生活が乱れがちです。夏に失敗しない生活リズムを築きましょう。

## ②「スマホは近くに置かない」は当然なのか！？

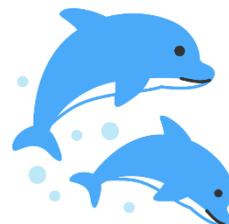
勉強が調子よく進んでいる時、「ピコリン」とか「プブブ」とスマホが反応したら、せっかくの集中力が切れてしまいます。スマホと学習効果の相関を研究している学者は多くいますが、そのほとんどが負の相関関係という結論です。学習場所の近くにスマホを置かないのが基本でしょう。ただし、最近ではスマホを使った学習方法もあるようです。その場合はその学習方法が自分に合っているか、よく考えてから実行してください。

## ③小論文対策はすでに始まっている

福島大や県立医大をはじめとして入試に小論文を出題している大学は多くあります。新聞などのメディアを通じて、自分の志望する学部に関する社会問題などの記事に触れておくことは大切です。またその時、自分が「どう感じたか」、「どんな改善策を思いついたか」が大切になってきます。記事や意見をノートなどに保存しておけば、共通テスト後に役に立つかもしれません。

## ④苦しくなったら・・・

卒業していった先輩方も同じ道を歩んできています。行き詰って苦しい時は先輩方の体験談（進路の手引き）を読み返してはどうでしょうか。あるいは部活動の先輩に直接連絡を取ってみるのもよいでしょう。その苦しみを乗り越えるヒントを教えてくれるかもしれません。そして周りを見てください。苦しいのは自分だけではないはず。一緒に乗り越える仲間がいます。教室や講義室の戦友たちとともに戦っていきましょう。もちろん、家族や先生方に相談すれば必ず味方になってくれるはず。



## 1、2年生へ

### ①部活動だけに逃げるな

進学校の生徒であることを忘れてはいけません。「やりたいこと」と「やるべきこと」を明確にしてください。それは、各教科の学習だけを指しているではありません。勉強も部活動も学校行事もすべてにおいて全力で取り組んでください。過去の先輩方も充実した高校生活と進路実績を手にかけています。どれか一つしか手に入れない高校生活ではもったいないと思いませんか。例えば夏休み明けにはすぐに文化祭があります。みんなで協力して素晴らしい作品を作ってください。

### ②本や新聞を読もう

1年生の授業に「社会と情報」があります。その第1章第1節のはじめに記述されているのが「情報とは」です。

「<情報>の材料である数字や文字などを<データ>という。そして<情報>を分析して問題解決に役立つように体系化したものが<知識>である。」

とあります。どんなにインターネットが普及して便利になったといっても、データ量、つまり情報量が増えたに過ぎません。<情報>を<知識>に変える作業が必要なのです。その手助けをしてくれるのが本や新聞です（あくまで手助けですが）。だから本や新聞をたくさん読んでください。そして自分で考え、答えを出してください。そうすることで自分の知識が深まり、深く考えることができるようになって、真に「教養」のある人になるのです。そしてそれがある意味での「周りに流されない自律した人間」に繋がっていくのではないかと思います。（ちなみに本や新聞の内容を鵜呑みしてはまったく自分の<知識>になったとは言えませんのでご注意ください！）

